

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名：RV パウダーN 薄塗用
 会社名：田島ルーフィング株式会社
 住所：東京都千代田区外神田4-14-1
 担当部門：テクノサービス
 電話番号：03-6387-8880
 FAX番号：03-6387-8890
 作成日：1995年06月12日
 改訂日：2018年5月28日

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

火薬類：分類対象外
 可燃性・引火性ガス：分類対象外
 可燃性・引火性エアゾール：分類対象外
 支燃性・酸化性ガス：分類対象外
 高压ガス：分類対象外
 引火性液体：分類対象外
 可燃性固体：区分外
 自己反応性化学品：分類対象外
 自己発火性液体：分類対象外
 自然発火性固体：区分外
 自己発熱性化学品：区分外
 水反応可燃性化学品：区分外
 酸化性液体：分類対象外
 酸化性固体：分類できない
 有機過氧化物：分類対象外
 金属腐食性物質：分類できない

健康に対する有害性

急性毒性

経口：分類できない
 経皮：分類できない
 吸入（ガス）：分類対象外
 吸入（蒸気）：分類対象外
 吸入（粉塵／ミスト）：分類できない／分類対象外

皮膚腐食性/刺激性：区分1

眼に対する重篤な損傷性/刺激性：区分1

感作性

呼吸器：分類できない

皮膚：分類できない

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：区分1A

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分2（呼吸器系）

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分2（呼吸器系、腎臓）

吸引力呼吸器有害性：分類できない

水生環境

急性有害性 : 分類できない

慢性有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

発がんのおそれ。

呼吸器の障害。長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害。

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。呼吸器の障害。

全身毒性、消化器の障害のおそれ。

長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害。

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

[注意書き]

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉塵を吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

[応急措置]

飲んだ場合：口をすすぎ、無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

衣類にかかった場合：直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

[保管]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

| 成分名 | 成分 | 官報公示整理番号 (化審法) | CAS番号 | |
|------------|------------|-------------------|------------|-------------------------------|
| ポルトランドセメント | ケイ酸カルシウム | (1) - 194 | 12168-85-3 | 65997-15-1 (ポルトランドセメントとして) |
| | アルミン酸カルシウム | (9) - 2408 | 12042-78-3 | |
| せっこう | 硫酸カルシウム | (1) - 193 | 7778-18-9 | |
| 硅砂 | シリカ | (1) - 548 | 14808-60-7 | — |

【危険有害性成分】

ポルトランドセメント：労働安全衛生法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9 通知対象物 政令番号545の2

シリカ：結晶質－石英

労働安全衛生法第57条の2第1項 通知対象物 政令番号165の2

製品中に遊離シリカ（結晶質－石英）SiO₂（化審法番号1-548、CAS番号14808-60-7）を、最大50%含有する可能性がある。

酸化カルシウム：労働安全衛生法第57の2第1項 通知対象物 政令番号190

製品中に遊離酸化カルシウムCaO（化審法番号1-189、CAS番号1305-78-8）を最大1%含有する可能性がある。

4. 応急措置吸入した場合

速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は温水でうがいをさせ必要に応じて医療処置を受ける。

皮膚に付いた場合

速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

目に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分洗眼したのち、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄したのち、大量に飲み込んだ場合は水を飲ませ吐きださせ、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：燃焼しないので必要としない。

使ってはならない消火剤：燃焼しないので特になし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

作業は手袋、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項

洗浄した場合、洗浄液は必ず回収し河川等に流出しない様にする。

封じ込め及び浄化の方法・機材

スコップ、箒等で掻き集めるか、掃除機で回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意取扱い

[技術的対策]

局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。

火気厳禁

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らぬような適切な保護具を着用する。

[安全取扱い注意事項]

通気の良い場所で作業する。

濡れ、あふれ、飛散等がないように注意して取扱い、蒸気やミストの発生する場合は局所排気装置を設置する。

取扱い後は手・顔を良く洗い、うがいをし、休憩所等に手袋等の汚染した保護具を持ちこまないこと。

保管

[技術的対策]

日光の直射を避ける。
水漏れ、吸湿しない様に注意する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止措置

| | |
|------------|--|
| 管理濃度 | : 3. 0 mg/m ³ (労働安全衛生法・作業環境評価基準) |
| 許容濃度 | : 日本産業衛生学会 (2009年度版) 第2種粉塵 吸入性粉塵 1 mg/m ³ (TWA) 総粉塵 4 mg/m ³ (TWA) ACGIH (2009年度版) 結晶質シリカ (吸入性) 0. 025 mg/m ³ (TWA) 粉塵 吸入性粉塵 3 mg/m ³ (TWA) 総粉塵 10 mg/m ³ (TWA) |
| 設備対策 | : 屋内等の密閉された場所で取り扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置及び集塵機を備える。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | : 防塵用マスクを使用する。 |
| 手の保護具 | : ゴム製保護手袋又はポリエチレン製等の使い捨てタイプの手袋。 |
| 目の保護具 | : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖の衣服を着用し、必要に応じ長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------|-----------------------|
| 外観 | |
| 物理的状态 | : 微粉末 |
| 色 | : 灰白色微粉末 |
| 臭い | : なし |
| 密度 | : 約 2. 7 ~ 3. 1 (20℃) |
| 溶解性 | |
| 水 | : 難溶性 |
| 揮発性 | : なし |
| 引火点 | : なし |
| 発火点 | : なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------|
| 安定性 | : 常温、常圧で安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 特になし |
| 危険有害な分解性生物 | : なし |
| 可燃性 | : なし |
| 酸化性 | : なし |
| 自己反応性, 爆発性 | : なし |
| 粉塵爆発性 | : なし |
| 反応性 | : 水と反応し固化する |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------------|--|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性/眼に対する重篤な損傷・刺激性 | : 水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、pH 12 ~ 13を呈するため目や皮膚に炎症を起こす可能性がある。 |
| 発がん性 | : シリカ (結晶性) に関して、IARC ¹⁾ は1、日本産業衛生学会は1に分類 |

しており、区分1Aとした。

1) IARCグループ1 (ヒトに関して発がん性がある)

特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) :

シリカ (結晶性) に関して、反復ばく露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述がある。

酸化カルシウムの粉塵を吸入すると、気道の炎症²⁾、肺炎³⁾を起し、また誤飲すると脈が速く弱くなり、呼吸は速く浅くなり、体温が下がり、声門腫により呼吸をしにくくなり、ショック状態になる。そして食道、胃の穿孔も生じる⁴⁾ため、区分2 (呼吸器系) とした。呼吸器系の障害。

2) ACGIH (2001)

3) 4) HSDB (2005)

特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) :

シリカ (結晶性) に関して、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述がある⁵⁾。

酸化カルシウムの粉塵を吸入すると鼻中隔の潰瘍、穿孔を生じるとされているため、区分2 (呼吸器系、腎臓) とした。

長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害。

5) C I C A D 2 4 (2000)

長期毒性 : 多量に吸入すると「じん肺」になる恐れがある。

12. 環境有害情報

生態への影響については、データなし。

接触水はpH 12~13を呈するため環境に影響を及ぼさないように注意する。

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

特に製品や洗浄液が地面、河川、排水溝等へ直接流れないように対処する。

13. 廃棄上の注意

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行う。

排水処理などによって発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行うか許可業者に委託する。容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当しない。

国連番号 : なし

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 火気厳禁、天地無用

容器に濡れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

労働安全衛生法 (粉塵障害防止規則)

労働安全衛生法 (第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9 通知対象物質 政令番号 第545の2 ポルトランドセメント)

労働安全衛生法（第57条の2第1項 通知対象物 政令番号 第165号の2 結晶質シリカ）

じん肺法

化学物質管理促進法 : 該当せず。

輸出貿易管理令 : 該当せず。

消防法 : 該当せず。

16. その他の情報

危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特別な手配をする場合には用途・用法及び状況に適した安全対策を実施の上、手配には十分に注意願います。

全ての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

以上